

# 2008.10~12月 Event Schedule

日付	イベント名	場所	時間
10月11日(土)	ガムランワークショップ~ジャワのガムラン演奏を体験~	1Fミュージアムホール	13:30 ~ 15:30
10月11日(土) ~ 10月13日(月・祝)	3周年記念イベント「温泉足湯」 ~お! 館外にもあった 至福の時間~	屋外	10:00 ~ 17:00
10月15日(水) ~ 10月26日(日)	西日本鉄道100周年記念「天神100年 にしてつ100年」	1Fエントランスホール	9:30 ~ 17:00
10月19日(日)	きゅーはくミュージアムコンサート Tribute to『菅原道真』	1Fミュージアムホール	①13:00 ~ ②15:00 ~
10月21日(火) ~ 11月3日(月・祝)	国宝北野天神縁起絵巻 平成記録本展	1Fミュージアムホール	9:30 ~ 17:00
12月23日(火・祝)	第11回九博朝日寄席 ※有料	1Fミュージアムホール	未定

※上記イベントは予定であり、予告なく変更する場合があります。詳細については、決まり次第ホームページでお知らせします。

## きゅーはくニュース

入館者500万人突破  
ありがとうございました

特別展「島津の国宝と篤姫の時代」期間中の8月14日、開館以来の入館者数が500万人を突破しました。当日は記念セレモニーを開催、500万人目のお客さまに記念品をお贈りしました。今後も新鮮な面白さを発信し続ける博物館として、皆さまをお待ちしています。



開館時間  
9:30~17:00 (入館は16:30まで)

休館日  
月曜日  
(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)  
9月29日は開館

観覧料 (特別展は別料金)  
一般: 420円 (210円)  
高校生・大学生: 130円 (70円)

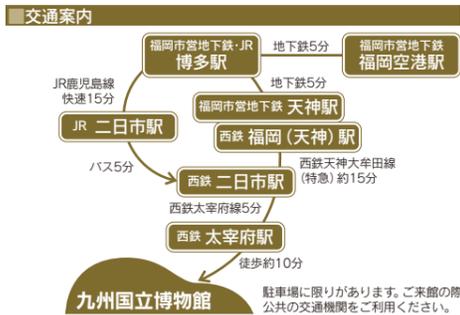
特別展「国宝 天神さま」  
一般: 1,300円 (1,100円)  
高校生・大学生: 1,000円 (800円)  
小学生・中学生: 600円 (400円)

※( )内は20名以上の団体料金。※障がい者とその介護者1名は無料。入館の際に障害者手帳等をご提示ください。※中学生以下、70歳以上の方は、文化交流展示については無料。入館の際に年齢の分かるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※特別展「国宝 天神さま」の観覧料で、文化交流展示もご覧いただけます。※満65歳以上の方は、特別展「国宝 天神さま」の( )内料金でご入場いただけます。入館の際に年齢の分かるもの(健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。  
\*特別展「国宝 天神さま」の開催期間は9/23(火・祝)~11/30(日)です。



九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2  
ご案内 NTT/ハローダイヤル  
**050-5542-8600**  
※オペレーターが対応します。通話料が発生します。  
[www.kyuhaku.jp](http://www.kyuhaku.jp)



# Asiage vol.10

九州国立博物館 季刊情報誌 アジアージュ  
KYUSHU NATIONAL MUSEUM PRESS

特集 特別展 **国宝 天神さま**  
NATIONAL TREASURES TENJIN-SAMA  
菅原道真の時代と天満宮の至宝  
2008年9月23日(火・祝)~11月30日(日)  
九州国立博物館 3階 特別展示室

神か怨霊か。畏れか親しみか。



次回特別展も  
楽しそう!

## 工芸のいま 伝統と創造 —九州・沖縄の作家たち 2009年1月1日(木・祝)~3月15日(日)

九州・沖縄には、陶芸、染織、金工、木竹工、人形など、伝統の技、歴史の中で培われた美意識によって作られた素晴らしい工芸があります。第一部では伝統工芸の分野で活躍する137人の作家が2000年以降の代表作を出品。第二部は九州・沖縄の作家を支え、導いてきた作家24人の優品が並びます。人間国宝に選ばれた27人の作品を含む、日本工芸の精華が皆さまをお待ちしています。



鳥巢水子 花結織「日向みずぎ」



# 国宝 天神さま

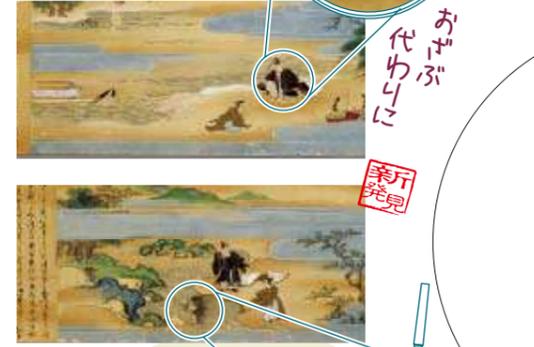
2008年9月23日(火・祝)~11月30日(日)  
九州国立博物館 3階 特別展示室

あるときは「王城守護の神」、またあるときは「詩文、書道の神」。今では「学問、受験の神様」として親しまれているのが、ご存じ「天神さま」こと菅原道真。天才とうたわれた少年時代を過ごし、平安朝を代表する学者・詩人となって政治家としても活躍した、人もうらやむ超エリートの波乱の人生とは？ 怨霊と恐れられたのはなぜ？ ドラマチックな生涯を振り返り、天神信仰の美術をはじめ、道真が生きた時代の文化や天神信仰の広がりを知る。天神さまの杜に抱かれた九州国立博物館に、かつてない規模の至宝が結集した。

## 第一章 菅原道真 波乱の生涯

学者の家に生まれ、右大臣にまで上り詰めた道真だが、藤原氏の陰謀で九州・大宰府に左遷され、失意と悲哀のうちに亡くなってしまふ。縁起絵巻や道真愛用の遺品に宮廷の日々や大宰府の暮らしを見る。

**【天満宮縁起絵巻】**  
江戸時代・17~18世紀 長崎・八幡宮神社蔵  
これぞ自玉！ 今回の調査で明らかにされた絵巻であり、本邦初公開。長崎県対馬市の八幡宮神社に伝来。大宰府天満宮ゆかりのエピソードが多く追加されていて、いわば「大宰府天満宮縁起」なのである。



**Scope** 「網敷天神」の場面  
大宰府へ向かう途中、道真が立ち寄った地の民が綱を巻いて敷物に。

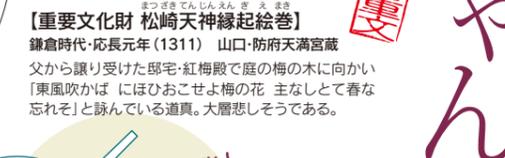
**Scope** 「水鏡天神」の場面  
道真がのぞき込んでいるのは、福岡の四山川(現・薬院新川)の水面。水鏡天満宮や福岡市「天神」の地名の由来はここにある。

**【国宝 延喜式】**  
南北朝時代・14世紀 東京国立博物館蔵  
平安時代末の平安京内の図などが収められた本巻。この左京図は、現代風といえば左京エリアマップ。道真の家「天神御所」と、庭に飛梅伝説の梅が植えられていた「紅梅殿」が記されている。



**Scope** 「天神御所」と「紅梅殿」  
五条に小路を挟んで両宅があったことが分かる。

**【重要文化財 松崎天神縁起絵巻】**  
鎌倉時代・応長元年(1311) 山口・防府天満宮蔵  
父から譲り受けた邸宅・紅梅殿で庭の梅の木に向かい「東風吹かばにほひおこせよ梅の花 主なしとて春な忘れそ」と詠んでいる道真。大層悲しそうである。



**Scope** 「麴飯のモチなし」の場面  
悲しみに暮らす道真をなくさめようと老女・浄明尼が差し入れた麴飯。道真が亡くなったときに梅の枝を挿して供えたのが梅ヶ枝餅の由来とか。

# 天神さまの人生を、

# 通りゃんせ。

**【国宝 北野天神縁起絵巻 承久本】**  
鎌倉時代・13世紀 京都・北野天満宮蔵  
波乱に満ちた生涯はストーリー性に富み、まるで大河ドラマを見ているよう？ 道真の一生と道真を祭神とする北野天満宮の由緒を描いた絵巻物。多くの天神縁起絵巻がある中で、この承久本は現存最古であり、門外不出の「根本縁起」として大切にされてきた最高傑作。今回、間近に見る貴重なチャンス。ダイナミックな構図と丁寧な人物表現は見応えたっぷりだ。



**Scope** 「恩賜の御衣」の場面  
道真が大宰府で天皇から頂いた衣を見て涙する。こちらまで思わずもらい泣きしそう…。



**【北野天神縁起絵巻】**  
鎌倉時代・13世紀 アメリカ・メトロポリタン美術館蔵  
品があるタッチながら迫力満点。日本太政威徳天となった道真、地獄で業火に焼かれる醍醐天皇など、ほかの縁起絵巻にはない独自のシーンが満載。かつては政治家・井上馨が愛蔵し、その後ニューヨークに渡った名品中の名品が里帰り。

## 第二章 天神さまの芸能とまつり

道真の物語は能楽や人形浄瑠璃、歌舞伎の題材としても取り上げられ、庶民の暮らしに深く根差していった。北野天満宮ほか各地の天満宮は、信仰の場だけでなく、文芸や芸能の場としてもにぎわいを見せた。全国各地に残る天神まつりも紹介する。

**【菅原伝授手習鑑 車引】** 歌川国貞筆  
江戸時代・嘉永3年(1850) 神奈川・常盤山文庫蔵  
道真への信仰から生まれた「菅原伝授手習鑑」。人形浄瑠璃に始まり、歌舞伎の定番に。博多座でもご当地物としてよく上演される。これは三段目「車引」の場面。道真の宿敵・藤原時平が牛車の上で威勢を張る。



**【国宝 白磁円碗 伝菅公遺品】**  
中国・唐時代・7世紀 大阪・道明寺天満宮蔵  
当時の貴族にも贅沢なブランド品だったと思われる中国舶載の碗。道真が愛用したと伝えられ、形見の品として菅原氏の氏寺だった土師寺(現・道明寺天満宮)に納められた工芸品。

**【国宝 玳瑁装牙櫛 伝菅公遺品】**  
中国・唐時代・9世紀 大阪・道明寺天満宮蔵  
道真は、美的センスも抜群の趣味人だったよう。この櫛はべつ甲や金泥で飾った象牙製で、唐文化へのあこがれや宮廷社会の華やかさが伝わってくる。



### 私視点

弱ささえ愛される道真公の人生、アニメのような絵巻や遺品で。

私にとって人間・菅原道真公は、代を遡ったおじいさん。毎日、本殿でお祈りし、お会いしていることもあり、いつもすぐそばに感じている存在です。

天才肌であり、正しいと思ったことは真つすぐに伝える正直さを持った方であり、心のままにストレートな気持ちを歌にお詠みになった。時にそれは嘆きや気持ちの弱さの表れでもありますが、そんな面さえ後世の人々に共感されている。むしろその人間らしきゆえ「正直の神」「真の神」ともいわれ、亡くなられて1100年たっても皆に愛され慕われている、大変まれな存在ですね。今回の展示品で私が大好きな作品は「北野天神縁起絵巻 承久本」。初めて見たのは学生時代でしたが、そのインパクトは忘れられません。表現が多彩で迫力があり、ストーリー性豊か。楽しく、面白く、ぐいぐい引き込まれ、日本のアニメの原点はここにあるのでは、と感じたほどです。また、道真公の遺品もじっくり眺めてください。道真公の生きた時代、空気感が時空を超えて語り掛けてくるようです。

大宰府天満宮 宮司  
**西高辻 信良さん**  
菅原道真の39代目の子孫。1983年に宮司に。



## 第三章 天神信仰のひろがり

非業の死を遂げた道真の霊への恐れから生まれたのが天神信仰。平安時代には大宰府の官人にあつく信仰され、中世以降は武士や中国にあこがれを抱く僧侶からも崇められた。近世以降は「学問の神」「芸道の神」として庶民にも広く親しまれていった。

**【国宝 十一面観音菩薩立像】**  
平安時代・9世紀 大阪・道明寺蔵  
道真の自作とされる観音像。道真は生前から観音を深く信仰していたという。飛鳥時代に創建された道明寺の本尊。

**【重要文化財 天神坐像】**  
鎌倉時代・弘長元年(1261) 神奈川・荏柄天神社蔵  
鎌倉幕府の鬼門の守護神として崇敬された荏柄天神社に伝来する像は、激しい憤怒の表情を見せる「怒り天神」。現在は失われているが、なんと像内に木製の五臓六腑が納められていたという。



**Scope** 「怒り天神」の顔  
見よ、これぞ「御雲(ごりょう)」と恐れられたお方の表情。

**Scope** 「険しい」  
見よ、これぞ「御雲(ごりょう)」と恐れられたお方の表情。



# 九博の「展示室」について教えてください。

開館3周年を迎え、来館者も500万人を突破した九博。巷にはリピーターが増殖中だけど、知られていないことも、まだまだ多いのでは？ 今さら聞けない基本情報から最新トピックまで、九博の中身をしっかりと調査してお伝えします。1回目は、主要機能「展示」について。展示課の赤司課長、お願いします！

## 「特別展示室」「文化交流展示室」新鮮さの秘密はどこに？

ご存じの通り、九州国立博物館は日本とアジアの文化交流史をテーマにした博物館。3階の「特別展示室」と4階の「文化交流展示室」の2つの展示室で、それぞれ特色ある展示を行っています。

「特別展示室」では、年4回ほどの特別展を開催し、現在「国宝 天神さま」を展開しています。学芸員が数年がかりで企画、手配した国内外の貴重な文化財に出合える、来館者の注目度も高い展示です。

「文化交流展示室」は、一般的な博物館という平常展示。常時、約800件の文化財を5つのテーマに分けて配置しています。作品保護とよそからの借用が多いために頻りに展示替えを行うので、現在の展示品も半年後には全く様変わりしているんですよ。これが何度訪れても



4階の文化交流展示室

新しい発見がある九博の展示の秘密なのです。文化交流展示室では、「トピック展示」にも注目を。特別展並みの企画や当館で修復を終えた貴重な文化財の限定公開など、新鮮な視点でご覧いただけます。これも当館が力を入れている展示の一つですね。

## 「なるほど」「おもしろい」を引き出す個性派ディスプレイです！

展示をする上で心掛けているのは、60字以下の短い解説。そして歴史を重ねた「もの」自体が、見る人に語り掛けるようなディスプレイにすること。展示室全体の照明を落として作品を浮かび上がらせているのは、じっくり作品と向き合ってもらうため。アクリル板で作品を宙に浮かせたり、立たせたりしているのは、さまざまな角度からのぞき込んで楽しんでほしいからです。ディスプレイについては学芸員の中でも常に批評し合い、期間中であっても試行錯誤を繰り返しています。また、出土品などは比較、関連付けができる配置にもこだわっています。歴史のエピソードをふんだんに紹介しているので、それぞれの時代へ楽しく想像を広げてくださいね。

展示室は、これからの博物館を考える実験室でもあります。最近力を入れているのは、ハイビジョンの16倍



スーパーハイビジョンで広がる細密&迫力の世界



赤司さんも思い入れ深い展示の一つ。文化交流展示室内の「遣唐使船がはこんだもの」。ハンズオンの展示物を楽しもう

の解像度を誇るスーパーハイビジョンの映像展示。精密かつダイナミックな映像で文化財への興味をさらに盛り上げる、世界でも大変珍しい試みです。文化交流展示室の楽しみ方は「好きなところから、自由に」が九博流。歴史に詳しい方もそうでない方も「なるほど」「おもしろい」と思っていただけの仕掛けを用意しています。

鹿児島県指定有形文化財「不動明王像」鹿児島市・南洲寺蔵 文化交流展示室 第6室 展示期間～2008.11.24



「文化交流展示室」に展示されるさまざまな文化財、九博の建物をカードにしました。九博を彩る主役たちを集めてあなたも九博通になろう！ 次回にカードを持って見比べてみるのも楽しいですよ。

# Exhibition & Museum Card



琉球風俗図屏風

蝦夷島奇観



叉状腰飾



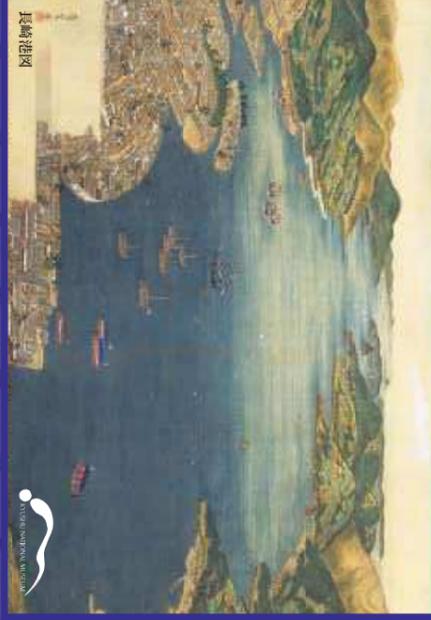
銅鐸



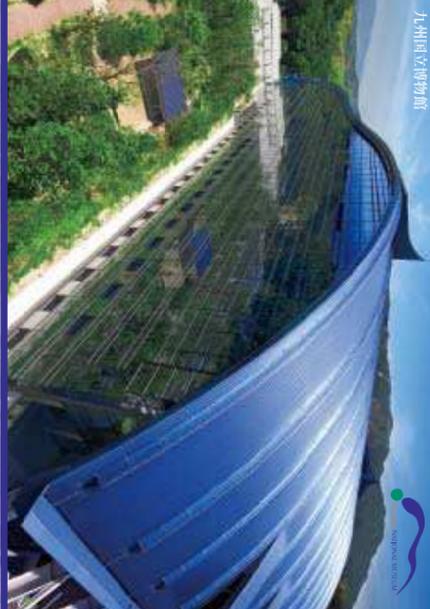
鹿耳島流木彫刻真形釜



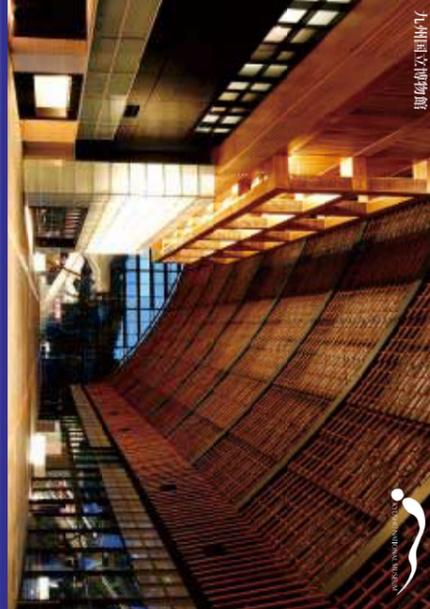
ペトナム村協同系文書神勅



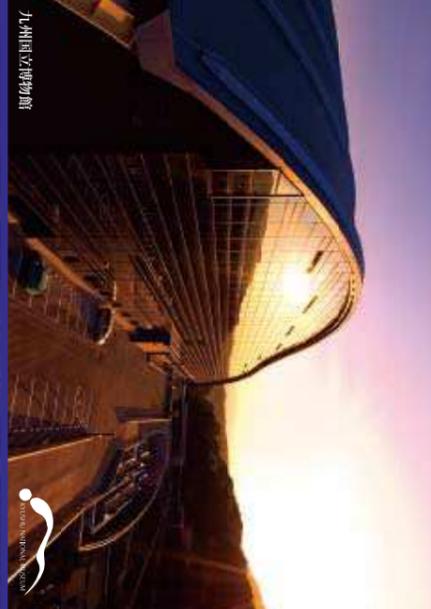
長崎港図



九州国立博物館



九州国立博物館



九州国立博物館

## 北と南の民俗詩 —アイヌ・琉球の人々—

期間：2008年9月17日(水)～10月26日(日)  
場所：文化交流展示室 第11室 一多彩な江戸文化

日本列島は南北に長く3500kmにわたり海上に横たわっています。かつて、北の大地にはアイヌの人々が暮らし、南の島には琉球王国が栄えていました。北と南の地はそれぞれ遠い世界とつながる窓口でもあり、国際交流の拠点でした。その地に生きた人々を暮らしと祈りというテーマで紹介します。

蝦夷島奇観+琉球風俗図屏風

Information  
文化交流展示室  
トピック展示

## あおり縄文展

期間：2008年11月22日(土)～12月21日(日)  
場所：文化交流展示室 第3・4室

縄文時代の遺跡の宝庫、日本列島の北の大地ではくまれた豊かな縄文文化について、貴重な出土品からその魅力を紹介。日本最大級の縄文集落として著名な三内丸山遺跡や、華麗な工芸技術が発達した亀ヶ岡遺跡の出土品など、九州ではめったにお目にかかれぬ展示品が充実。自然を巧みに利用し発達した縄文文化の世界をご覧ください。



重要文化財 大型板状土偶 (青森市・三内丸山遺跡)



きゅうはく トリビア①



見つめてニャン

博物館のどこかに、わたくしに猫がいるのよ。のんびりしてるから、どーぞ見つめてちょうだいニャ。小さいから難しいかしら〜？

きゅうはく トリビア②



天神さまを紙芝居で

九州国立博物館で「紙芝居」の学校貸出しキット「きゅうはく」には、常連通真紙芝居があるのよ。特別展「国守 天神さま」の期間中、「あじっば」で紙芝居を見ることが出来る。

銅 鐸  
展示場所 文化交流展示室 第3室  
トピック展示「よみがえる弥生都市」  
展示期間 ~2008.11.16



●DATA  
ジャンル/考古  
時代/弥生・2世紀  
出土地/佐賀県神埼郡吉野ヶ里町・吉野ヶ里遺跡  
所蔵/佐賀県

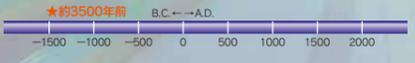


九州国立博物館

叉状腰飾  
展示場所 文化交流展示室 第1テーマ  
展示期間 ~2009.3.31



●DATA  
ジャンル/考古  
時代/縄文・約3500年前  
出土地/岩手県陸前高田市・中沢浜貝塚  
所蔵/東京国立博物館



九州国立博物館

蝦夷島奇観+琉球風俗図屏風  
展示場所 文化交流展示室 第11室  
トピック展示「北と南の民俗詩-アイヌ・琉球の人々」  
展示期間 ~2008.10.26



●DATA  
ジャンル/歴史資料  
時代/江戸文化4年(1807)  
作者/桑橋九華  
所蔵/東京国立博物館

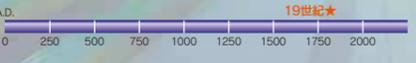


九州国立博物館

長崎港図  
展示場所 文化交流展示室 第11室  
トピック展示「港市長崎-鎖国のなかの異国情緒-」  
展示期間 2008.12.9~2009.1.18



●DATA  
ジャンル/絵画  
時代/江戸・19世紀  
所蔵/九州国立博物館

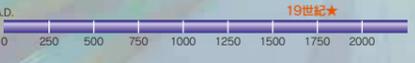


九州国立博物館

ベトナム村落関係文書 神勅  
展示場所 文化交流展示室 第11室  
トピック展示「国宝・古文書展」  
展示期間 2008.10.28~2008.12.7



●DATA  
ジャンル/歴史資料  
時代/ベトナム 阮朝・19世紀  
所蔵/九州国立博物館



九州国立博物館

重要文化財 蘆屋楓流水鶏図真形釜  
展示場所 文化交流展示室 第9室  
トピック展示「茶の湯を楽しむ」  
展示期間 2008.10.28~2008.12.7



●DATA  
ジャンル/金工  
時代/室町・15世紀  
所蔵/九州国立博物館



九州国立博物館

10月 Monthly Schedule table with columns for days of the week and exhibition titles.

11月 Monthly Schedule table with columns for days of the week and exhibition titles.

12月 Monthly Schedule table with columns for days of the week and exhibition titles.

Goods

マリアさまのご加護があるかも?! 「花鳥蒔絵螺鈿聖籠」アイテム

Advertisement for 'Maria's Blessing' items including a sketchbook, a t-shirt, and a paper. Includes images and prices.

Foods

京風をプラス。限定「天神さま松花堂弁当」

Advertisement for 'Tenjin-sama Matsuhanabito Bento' featuring various dishes and prices.

Exhibition & Museum Card

Advertisement for a volunteer named 井上 侂子さん, including a photo and contact information.

一緒に館内を探検しましょう!

Text describing the museum's volunteer activities and the 'Explore the Museum' program.

Graphic for 'きゅうはくを 観る知る遊ぶ' (Explore, Know, Play with Kyūhaku).

あじっば 探検

アジアの遊びはボーダーレス! 楽器、ゲームコーナーをのぞいてね

Text describing the 'Ajibba' program, which includes traditional instruments and games from Asia.

Advertisement for the 'Ajibba' program featuring a woman playing a gamelan instrument and text about safety and participation.

Advertisement for a special exhibition 'あじっばら' featuring traditional sweets and a festival float.